

平成29年11月24日

各 関 係 機 関 等 の 長 殿

金沢大学医薬保健研究域医学系長

多 久 和 陽

(公印省略)

循環器病態内科学担当教授候補者の公募について (依頼)

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本医学系においては、平成30年3月31日に定年退職予定である循環器病態内科学研究分野の山岸正和教授の後任教授候補者の選考を行うことになりました。本選考は、本医学系における主要研究課題「先進的手法融合による難治性疾患の分子病態解明と創薬への応用：効果的疾患管理法開発のための基礎研究から多施設共同臨床研究への展開」の推進を目指した研究組織強化の一環として行うものです。なお、金沢大学医学系においては、内科系研究分野の臓器別再編成（消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、血液内科）が進行中であることを申し添えます。

つきましては、ご多忙のところ甚だ恐縮に存じますが、貴学及び関係機関に適任者がございましたら、下記により書類を添えてご推薦くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 1 選考方針 博士の学位を取得している者で、循環器内科学の分野で顕著な業績を挙げ、この領域で優れた研究、教育、診療を進めることができる者
- 2 職 名 教授 1名
- 3 職務内容 循環器内科学に関する研究、教育及び診療
以下の組織における、上記分野に関連する講義、実習、研究指導等
 - ・ 学士課程における共通教育・専門教育
 - ・ 大学院医薬保健学総合研究科修士課程及び博士課程、先進予防医学研究科博士課程における専門教育(英語での授業をお願いすることがあります。)
なお、附属病院における循環器内科長としての職務を担えること
循環器専門医の資格を有することが望ましい
- 4 採用予定 平成30年8月1日(水)以降のできるだけ早い日
- 5 公募期限 平成30年1月23日(火) 17時必着
- 6 待 遇 就業規則等については、下記の URL をご覧ください。なお、給与は学歴・職務経験等を考慮して決定されます。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
- 7 必要書類 (1) 推 薦 書 (提出は必須ではない)
(2) 応募者について問い合わせ可能な方2名の連絡先 住所、電話番号、および電子メールアドレス。
(3) 履 歴 書 1通(様式1)
(4) 業績目録 1通(様式2)

- (5) 主要論文 20編 各編別刷10部(コピー可)
 - (6) 過去5年間の特記すべき診断・治療実績の記録(様式3)
 - (7) 研究・教育・診療に関する実績と抱負(2,000字以内, 様式自由)
- ※上記書類は, 選考後においても返却しません。

8 書類提出先 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

金沢大学医薬保健研究域医学系長 あて

(親展とし, 表書きに「循環器病態内科学担当教授応募」と朱書きし, 郵送の場合は書留をお願いします。)

9 本件問合せ先 事務担当: 医薬保健系事務部総務課人事係長 下出千恵美

TEL 076-265-2112, FAX 076-234-4202

- 10 付 記 (1) 金沢大学では, 教員の英語による教育能力の向上, 英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。
- (2) 本学においては, 男女共同参画を推進しており女性教員の積極的な登用を行っております。詳しくは, 下記URLをご覧ください。ついては, 多数の女性研究者の応募をお待ちしております。

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

- (3) 選考の過程でご来学の上, ご講演等を願うことがあります。

様式1

履 歴 書

現 住 所

TEL

e-mail:

ふりがな

氏 名

印

生 年 月 日 昭和 年 月 日 生

現 職

TEL

学 歴（高等学校入学以降）

医師免許又は歯科医師免許 取得年月日： 年 月 日

登 録 番 号：第 号

学 位 学 位 名： 授与大学名：

取得年月日： 年 月 日

資 格

職 歴（外国出張等についても記入してください。）

加入学会 （期間，学会名，学術団体名，役職名）

大学等での教育歴（大学・学部・大学院名，担当科目名，年間担当授業コマ数，担当
期間など）

その他特記事項（教育ワークショップ等への参加，学生生活指導，管理運営，兼任公職，
社会貢献，特許等）

賞 罰

科学研究費補助金・助成金等

（代表・分担別に，種目・課題名・金額を含め記載のこと。）

（用紙はA4版横書きとしてください。）

写真

1. 縦36～40 mm
横24～30 mm
2. 本人単身胸から上

様式 2

業 績 目 録

I 著 書

II 総 説

III 原 著（研究分野ごとに類別し，標題には，A. B. C. . . . を冠する。）

IV 学会発表等（国際学会の場合は，発表演者に限る。国内学会の場合は，特別講演，教育講演，シンポジウム及びワークショップ等に限る。）

- 1 I～IIIについては，著者名，書名又は題名，発表誌名，巻，ページ（初ページ～終ページ），発行所名，発行年の記載があれば，様式は自由。印刷中の論文は，掲載証明書の写しを添付してください。
- 2 用紙は，A 4 版，横書，タイプ浄書（ワープロを含む。）としてください。
- 3 著書，総説，原著，学会発表等は年月日の古いものから 1，2，3，. . . の番号を付記してください。また，本人氏名には下線を付してください。さらに，corresponding author となっている論文には，それが分かるようにマークしてください。
- 4 論文別冊を添付したものは，○印を付すとともに，論文別冊にもその番号を明記してください。
- 5 学位論文はその旨付記してください。
- 6 電子データでの提出もお願いします。OS，使用ソフト，送付時のメディアについての指定は特にありませんが，PDF 形式はできるだけ避けてください。

様式 3

氏名：

過去5年間の特記すべき診断・治療実績のまとめ(年 月～ 年 月)

主たる実施者または指導者として関わった症例数を実施施設ごとに記載

診断・治療の名称	実施施設名	症例数	
		主たる実施者	指導者